

令和7年11月11日

「和紙：日本の手漉和紙技術」「山・鉾・屋台行事」 「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」 の拡張提案に係るユネスコ無形文化遺産代表一覧表登録 に関する評価機関による勧告

我が国よりユネスコ無形文化遺産代表一覧表への登録に向けて拡張提案を行った「和紙：日本の手漉和紙技術」「山・鉾・屋台行事」「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」について、この度、無形文化遺産保護条約政府間委員会の評価機関より「記載」の勧告があり、ユネスコ無形文化遺産公式サイト（[ICH - UNESCO Intangible Cultural Heritage](https://ich.unesco.org/)）において公表されましたので、松本文部科学大臣の談話と併せて、お知らせいたします。

本勧告を受け、第20回政府間委員会（令和7年12月8日～12月13日、ニューデリー（インド））において最終決定がなされます。

1. 評価機関による勧告（別添参照）

「和紙：日本の手漉和紙技術」「山・鉾・屋台行事」「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」の拡張提案については、提案が認められ、「記載」（登録）することが適当との勧告がなされた。

（参考1）評価機関による勧告の3区分

- ・①「記載（Inscribe）」：代表一覧表に登録するもの。
- ・②「情報照会（Refer）」：提案国に追加情報を求めるもの。
- ・③「不記載（Not to inscribe）」：登録基準を満たさないもの。

（参考2）評価機関

評価機関は、各地域から選出された専門家6名とNGO6団体で構成。代表一覧表への登録等について事前審査を行い、政府間委員会に勧告を行う。

2. 今後の予定

第20回政府間委員会（令和7年12月8日～12月13日、ニューデリー（インド））において、12月9日～12月11日の間にユネスコ無形文化遺産代表一覧表への登録に関する最終決定がなされる予定。

なお、同委員会での決議は、評価機関の勧告と同じ「記載」、「情報照会」、「不記載」の3区分である。

<担当> 文化庁文化資源活用課文化遺産国際協力室
室長 則本（内線 4784）
室長補佐 荻原（内線 5737）
無形文化遺産係 坂口・山崎（内線 2868）
電話：03-6734-2868（直通）

評価機関による勧告内容（ポイント）

委員会は、

1. 人類の無形文化遺産の代表的な一覧表に 2009 年に「日立風流物」及び「京都祇園祭の山鉾行事」が記載されたこと、2016 年に「山・鉾・屋台行事」が記載されたことを想起する。
2. 日本が「山・鉾・屋台行事」を代表一覧表に提案したことを確認する。
3. 提案書に含まれている情報をもとに、5つの基準を満たしていると決定する。
4. 本記載は、2016 年に人類の無形文化遺産の代表的な一覧表に記載された「山・鉾・屋台行事」を組み込んで置き換えることに留意し、代表一覧表に「山・鉾・屋台行事」を記載することを決定する。
5. 日本が自然資源の利用における創造性と持続可能性に特に留意しつつ、コミュニティ間の経験の交流を促進していることを称賛する。

（詳細は別添原文参照）

【拡張提案案件2】「山・鉾・屋台行事」

○ 拡張提案追加対象案件(4件)

重要無形民俗文化財の名称	保護団体	県名	市名
ひたちおおつ おふねまつり 常陸大津の御船祭(平成29年国指定)	常陸大津の御船祭保存会	茨城県	北茨城市
むらかみまつり やたいぎょうじ 村上祭の屋台行事(平成30年国指定)	村上まつり保存会	新潟県	村上市
ほうじょうづ はちまんぐうさい ひきやま つきやまぎょうじ 放生津八幡宮祭の曳山・築山行事 (令和3年国指定)	放生津八幡宮曳山・築山保存会	富山県	射水市
おおつまつり ひきやまぎょうじ 大津祭の曳山行事(平成28年国指定)	大津祭保存会	滋賀県	大津市

ひたちおおつ おふねまつり 常陸大津の御船祭

指定年月日:平成29年3月3日

保護団体:常陸大津の御船祭保存会

団体の所在地:茨城県北茨城市

概要:北茨城市大津町にあるさわわちぎ佐波波地祇神社の春季例大祭に行われる行事で、神輿を載せた大型の木造船が御船歌や囃しにあわせて町内を巡行し、豊漁や海上安全などを祈願する。船の巡行は、ソロバンと呼ばれる井桁状に組んだ木枠を路上に敷き、その上を左右に激しく揺らしながら、豪快に滑らせて行われる。



むらかみまつり やたいぎょうじ 村上祭の屋台行事

指定年月日:平成30年3月8日

保護団体:村上まつり保存会

団体の所在地:新潟県村上市

概要:新潟県村上市にあるせなみはぐる西奈彌羽黒神社の例大祭に行われる行事で、神輿のとぎよ渡御に合わせて、傘鉾、荒馬と呼ばれる武者装束の行列などとともに、19基の屋台が旧村上城下を巡行する。屋台は、お囃子を伴う二層二輪形式の構造で、しゃぎり屋台、囃子屋台、にわか屋台の三つの形態がある。



ほうじょうづ はちまんぐうさい ひきやま つきやまぎょうじ
放生津八幡宮祭の曳山・築山行事

指定年月日:令和3年3月11日

保護団体:放生津八幡宮曳山・築山保存会

団体の所在地:富山県射水市

概要:富山県射水市にある放生津八幡宮の秋季祭礼に行われ、曳山行事と築山行事から構成される。曳山は13基あり、昼間は美しく装飾された「花山」、夜は四方を提灯で囲んだ「提灯山」となって市内を巡行する。築山は、放生津八幡宮の境内に置かれる臨時の山で、地域の人物や歴史に取材した場面を人形などで表現して飾る。



おおつまつり ひきやまぎょうじ
大津祭の曳山行事

指定年月日:平成28年3月2日

保護団体:大津祭保存会

団体の所在地:滋賀県大津市

概要:滋賀県大津市にある天孫神社てんそんの例祭に行われる行事で、からくり人形を載せた13基の曳山が町内を巡行する。曳山は、天孫神社の社頭で整列し、からくりを奉納した後、囃子しやうもんを奏でながら各町を巡行する。巡行の途中では、「所望」といって、30か所ほどある所定の場所で、曳山ごとにかからくり人形が披露され、観衆に粽ちまきが撒かれる。



(参考)ユネスコ無形文化遺産代表一覧表記載「山・鉾・屋台行事」構成要素(33件)

重要無形民俗文化財の名称	保護団体	府県名	市町名
はちのへさんしゃたいさい だし ぎょうじ 八戸三社大祭の山車行事(平成 16 年国指定)	八戸三社大祭山車祭り行事保存会	青森県	八戸市
かくのだてまつ ぎょうじ 角館祭りのやま行事(平成3年国指定)	角館のお祭り保存会	秋田県	仙北市
つちぎしんめいしやさい ひきやまぎょうじ 土崎神明社祭の曳山行事(平成9年国指定)	土崎神明社奉賛会		秋田市
はなわまつり やたいぎょうじ 花輪祭の屋台行事(平成 26 年国指定)	花輪ばやし祭典委員会		鹿角市
しんじょう やたいぎょうじ 新庄まつりの山車行事(平成 21 年国指定)	新庄まつり山車行事保存会	山形県	新庄市
ひたちふりゆうもの 日立風流物(昭和 52 年国指定)	日立郷土芸能保存会	茨城県	日立市
からすやま やま ぎょうじ 烏山の山あげ行事(昭和 54 年国指定)	烏山山あげ保存会	栃木県	那須烏山市
かぬまいまみやじんじやさい やたいぎょうじ 鹿沼今宮神社祭の屋台行事(平成 15 年国指定)	鹿沼いまみや付け祭り保存会		鹿沼市
ちちぶまつり やたいぎょうじ かぐら 秩父祭の屋台行事と神楽(昭和 54 年国指定)	秩父祭保存委員会	埼玉県	秩父市
かわごえひかわまつり だし ぎょうじ 川越氷川祭の山車行事(平成 17 年国指定)	川越氷川祭の山車行事保存会		川越市
さわら だし ぎょうじ 佐原の山車行事(平成 16 年国指定)	佐原山車行事伝承保存会	千葉県	香取市
たかおかみくるまやまつり みくるまやまぎょうじ 高岡御車山祭の御車山行事(昭和 54 年国指定)	高岡御車山保存会	富山県	高岡市
うおづ ぎょうじ 魚津のタテモン行事(平成9年国指定)	魚津たてもん保存会		魚津市
じょうはなしんめいぐうさい ひきやまぎょうじ 城端神明宮祭の曳山行事(平成 14 年国指定)	城端曳山祭保存会		南砺市
せいはいさい ひきやまぎょうじ 青柏祭の曳山行事(昭和 58 年国指定)	青柏祭でか山保存会	石川県	七尾市
たかやまつり やたいぎょうじ 高山祭の屋台行事(昭和 54 年国指定)	日枝神社氏子山王祭保存会 八幡神社氏子八幡祭保存会	岐阜県	高山市
ふるかわまつり おこ だいい やたいぎょうじ 古川祭の起し太鼓・屋台行事(昭和 55 年国指定)	古川祭保存会		飛騨市
おおがきまつり やまぎょうじ 大垣祭の軋行事(平成 27 年国指定)	大垣祭保存会		大垣市
おわりつしまてんのうまつり だんじりぶねぎょうじ 尾張津島天王祭の車楽舟行事(昭和 55 年国指定)	尾張津島天王祭協賛会	愛知県	津島市・愛西市
ちりゅう だし ぶんらく 知立の山車文楽とからくり(平成2年国指定)	知立山車文楽保存会 知立からくり保存会		知立市
いぬやまつり やま ぎょうじ 犬山祭の車山行事(平成 18 年国指定)	犬山祭保存会		犬山市
かめざきしおひまつり だし ぎょうじ 亀崎潮干祭の山車行事(平成 18 年国指定)	亀崎潮干祭保存会		半田市
すなりまつり だんじりぶねぎょうじ みよしなが 須成祭の車楽船行事と神流し(平成 24 年国指定)	須成文化財保護委員会		蟹江町
とりで じんじや くじらぶねぎょうじ 鳥出神社の鯨船行事(平成9年国指定)	富田鯨船保存会連合会	三重県	四日市市
うえのてんじんまつり ぎょうじ 上野天神祭のダンジリ行事(平成 14 年国指定)	上野文化美術保存会		伊賀市
くわな いしどりまつり さいしやぎょうじ 桑名石取祭の祭車行事(平成 19 年国指定)	桑名石取祭保存会		桑名市
ながはま ひきやまぎょうじ 長浜曳山祭の曳山行事(昭和 54 年国指定)	公益財団法人 長浜曳山文化協会	滋賀県	長浜市
きょうとぎ おんまつり やまぼこぎょうじ 京都祇園祭の山鉾行事(昭和 54 年国指定)	公益財団法人 祇園祭山鉾連合会	京都府	京都市
はかたぎ おんやまがきぎょうじ 博多祇園山笠行事(昭和 54 年国指定)	博多祇園山笠振興会	福岡県	福岡市
とばたぎ おんおやまがきぎょうじ 戸畑祇園大山笠行事(昭和 55 年国指定)	戸畑祇園大山笠振興会		北九州市
からつ ひきやまぎょうじ 唐津くちの曳山行事(昭和 55 年国指定)	唐津曳山取締会	佐賀県	唐津市
やつしろみょうけんさい しんこうぎょうじ 八代妙見祭の神幸行事(平成 23 年国指定)	八代妙見祭保存振興会	熊本県	八代市
ひたぎ おん ひきやまぎょうじ 日田祇園の曳山行事(平成8年国指定)	日田祇園山鉾振興会	大分県	日田市

2003年(平成15年) **無形文化遺産保護条約** 採択〔2004(H16)年 日本締結(世界で3番目)、2006(H18)年 発効〕

- 【目的】 ■ 無形文化遺産の保護
■ 無形文化遺産の重要性及び相互評価の重要性に関する意識の向上 等

- 【内容】 ■ 「**人類の無形文化遺産の代表的な一覧表**」(代表一覧表)の作成
■ 「緊急に保護する必要がある無形文化遺産の一覧表」の作成
■ 無形文化遺産基金による国際援助 等

締約国数:185

登録までの流れ

- 締約国からユネスコに申請(毎年3月)
〔各年、約60件の審査件数の制限〕
* 無形文化遺産の登録のない国等の審査を優先
* 我が国の案件は実質**2年に1回**の審査となっている
- ↓
- 評価機関による審査
- ↓
- 政府間委員会において決定(翌年11月頃)
- ① 記載(inscribe)
 - ② 情報照会(refer)⇒ 追加情報の要求
 - ③ 不記載(not to inscribe)

登録基準 <無形文化遺産保護条約運用指示書(抜粋)>

- 申請国は、申請書において、代表一覧表への記載申請案件が、次のすべての条件を満たしていることを証明するよう求められる。
1. 申請案件が条約第2条に定義された「**無形文化遺産**」を構成すること。
(a) 口承による伝統及び表現 (b) 芸能 (c) 社会的慣習、儀式及び祭礼行事
(d) 自然及び万物に関する知識及び慣習 (e) 伝統工芸技術
 2. 申請案件の記載が、無形文化遺産の認知、重要性に対する認識を確保し、対話を誘発し、よって世界的に文化の多様性を反映し且つ人類の創造性を証明することに**貢献**するものであること。
 3. 申請案件を保護し促進することができる**保護措置**が図られていること。
 4. 申請案件が、関係する社会、集団および場合により個人の可能な限り**幅広い参加**および彼らの自由な、事前の説明を受けた上での**同意**を伴って提案されたものであること。
 5. 条約第11条および第12条に則り、申請案件が提案締約国の領域内にある無形文化遺産の目録に含まれていること。

我が国の無形文化遺産登録(代表一覧表記載)状況等

現在 **23件**
世界全体では**667件**

- 重要無形文化財 ■ 重要無形民俗文化財 ■ 登録無形文化財 ■ 選定保存技術 ■ 文化審議会決定

2008 (H20)	のうがく 能楽	にんぎょうじゅうりふらんく 人形浄瑠璃文楽	かぶき 歌舞伎
2009 (H21)	ががく 雅楽 あきうのたうえおどり 秋保の田植踊 【宮城】	おぢやぢみ・えちごじょうふ 小千谷縮・越後上布 【新潟】 だいにちどうぶがく 大日堂舞楽 【秋田】	おくのとのあえのこと 奥能登のあえのこと 【石川】 だいまくたて 題目立 【奈良】 はやちねかぐら 早池峰神楽 【岩手】 あいぬこしきぶよう アイヌ古式舞踊 【北海道】
2010 (H22)	くみおどり 組踊	ゆうきつむぎ 結城紬 【茨城・栃木】	
2011 (H23)	みぶのはなたうえ 壬生の花田植 【広島】	さだしんのう 佐陀神能 【島根】	ほんみのし 本美濃紙 ちちぶまつりのやたいぎょうじとかぐら 秩父祭の屋台行事と神楽 たかやままつりのやたいぎょうじ 高山祭の屋台行事 おがのなまはげ 男鹿のナマハゲ
2012 (H24)	なちのでんがく 那智の田楽 【和歌山】		
2013 (H25)	わしよく 和食 ; 日本人の伝統的な食文化	にほんじんのでんとうきなしよくぶんか	
2014 (H26) 拡張提案中	わし 和紙: 日本の手漉和紙技術 →2025年12月 登録審議	にほんのてすきわしぎじゅつ ※2009年に無形文化遺産に登録された石州半紙【島根】に本美濃紙【岐阜】、細川紙【埼玉】を追加して登録。 ※越前島の子紙【福井】を追加する 拡張提案中 。	
2016 (H28) 拡張提案中	やまほこやたいぎょうじ 山・鉾・屋台行事 →2025年12月 登録審議	※2009年に無形文化遺産に登録された京都祇園祭の山鉾行事【京都】、日立風流物【茨城】に秩父祭の屋台行事と神楽【埼玉】、高山祭の屋台行事【岐阜】など31件を追加し、計33件の行事として登録。 ※常陸大津の御船祭【茨城】、村上祭の屋台行事【新潟】、放生津八幡宮祭の曳山・築山行事【富山】、大津祭の曳山行事【滋賀】を追加する 拡張提案中 。	
2018 (H30)	らいほうしん 来訪神: 仮面・仮装の神々	かめんかそうのかみがみ ※2009年に無形文化遺産に登録された甑島のトシドン【鹿児島】に、男鹿のナマハゲ【秋田】、能登のアマメハギ【石川】、宮古島のパーントゥ【沖縄】、遊佐の小正月行事(アマハゲ)【山形】、米川の水かぶり【宮城】、見島のカセドリ【佐賀】、吉浜のスネカ【岩手】、薩摩硫黄島のメンドン【鹿児島】、悪石島のボゼ【鹿児島】を追加して登録。	
2020 (R2) 拡張提案中	でんとうけんちくこうしょうのわざ 伝統建築工匠の技: 木造建造物を受け継ぐための伝統技術 →2025年12月 登録審議	もくどうけんどうぶつうけつぐのためのでんとうぎじゅつ ※2009年に提案したものの未審査となっていた「建造物修理・木工」に「檜皮葺・柿葺」「建造物装飾」等を追加し、計17件の技術として登録。 ※手織中継表製作を追加する 拡張提案中 。	
2022 (R4)	ふりゅうおどり 風流踊	※2009年に無形文化遺産に登録されたチャッキラコ【神奈川】に、綾子踊【香川】など40件を追加し、計41件の伝統芸能として登録。	
2024 (R6)	でんとうきさけづくり 伝統的酒造り		
提案中	しよどう 書道		